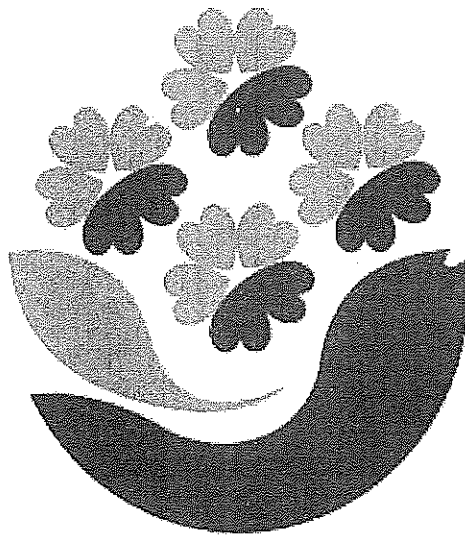


令和5年度

四街道市特別支援連携協議会  
(第2回)



四街道市教育委員会

令和5年度 第2回 四街道市特別支援連携協議会 開催要項

令和6年2月27日(火) 14:00～  
四街道市役所第二庁舎第2会議室

1 開会

2 教育委員会挨拶

3 座長挨拶

4 議題

(1) 報告

- ①令和5年度特別支援体制推進事業の成果と課題について (資料1)
- ②通常の学級在籍児童生徒用「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の様式について (資料2)
- ③相談支援ファイル「にじいろサポート」について (資料3)
- ④令和6年度就学説明会について (資料4)
- ⑤令和5年度青い麦の子振興ふれあい運動会について (資料5)

(2) 協議

- ・令和6年度の取組について (資料6)

5 閉会

令和5年度 特別支援連携協議会委員

氏名	備考
松浦 俊弥	淑徳大学 教授
砂川 ひかる	国立病院機構下志津病院医師
塩田 花子	健康増進課長
坂本 紀久	障害者支援課長
笠松 由紀子	子育て支援課長
松崎 章子	四街道市立中央保育所長
岩井 玲子	児童デイサービスセンターくれよん所長
楠岡 香里	くりやま幼稚園長
安部 健	四街道市立みそら小学校長
松崎 正敏	千葉県立四街道特別支援学校長
張能 正昭	千葉県立四街道高等学校長
岩森 伸彦	公共職業安定所ハローワーク千葉 専門援助部門統括職業指導官
松島 浩一郎	いんば中核地域生活支援センター 「すけっと」所長
高塚 啓子	千葉県教育庁北総教育事務所 指導室 主席指導主事
木内 操	Aーの会代表
小島 貴子	クレパスの会代表
伊藤 友江	指導課長

## 四街道市特別支援連携協議会設置要綱

### (目的)

第1条 発達障害の幼児児童生徒を含め、障害のある幼児児童生徒に対する支援体制の整備に向け、関係機関の情報交換、意見交換を行い、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援体制の整備を図るため、四街道市特別支援連携協議会をおく。

### (構成)

第2条 特別支援連携協議会（以下「連携協議会」という。）は、次に掲げる職にある者をもって構成する。

2 連携協議会の委員は、次の各号の者をもって充てる。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係（医師）
- (3) 保健関係（健康増進課）
- (4) 福祉関係（障害者支援課）
- (5) 福祉関係（子育て支援課）
- (6) 保育関係（市立保育所）
- (7) 療育関係（くれよん）
- (8) 教育関係（私立幼稚園）
- (9) 教育関係（小・中学校長会）
- (10) 教育関係（特別支援学校）
- (11) 教育関係（高等学校）
- (12) 労働関係（公共職業安定所）
- (13) 関係機関（いんば中核地域生活支援センター）
- (14) 関係機関（教育庁北総教育事務所指導室）
- (15) 市民
- (16) 市民
- (17) 市教育委員会（指導課）
- (18) 事務局（指導課）

3 事務局を指導課におく。

4 このほかに、連携協議会の運営に必要な部会を置くことができる。

5 委員の任期は1年とする。但し、再任は妨げない。

### (開催)

第3条 連携協議会は、必要に応じて教育長が召集する。

(運営・会議)

- 第4条 連携協議会に、座長、副座長を置く。
- 2 座長、副座長は委員が互選する。
  - 3 座長は連携協議会の会務を総理し、副座長は座長に事故あるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議事項)

- 第5条 会議は四街道市に居住する発達障害の幼児児童生徒含め、障害のある幼児児童生徒への支援体制の整備を促進するため、次の各号に掲げる事項について協議する。
- 1 四街道市における支援体制について
  - 2 四街道市の実情に応じた個別の教育支援計画の様式について
  - 3 保育所（園）、幼稚園、小・中学校及び高等学校における特別支援教育体制の在り方について
  - 4 望ましい理解や対応の啓発について
  - 5 特別支援学校が担う役割について
  - 6 その他座長が必要と認める事項について

(庶務)

- 第6条 連携協議会の庶務は、指導課において処理する。

(その他)

- 第7条 この要綱に定めるもののほか、連携協議会の運営に関して必要な事項については、教育長が別に定める。

附則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

令和5年度

四街道市特別支援連携協議会  
(第2回)

資 料

四街道市教育委員会

特別支援連携協議会

【協議】

- 1 四街道市における支援体制について
- 2 実情に応じた個別の教育支援計画の様式について
- 3 保育所（園）、幼稚園、小・中学校及び高等学校における特別支援教育体制の在り方について
- 4 望ましい理解や対応について
- 5 特別支援学校が担う役割について
- 6 その他座長が必要と認める事項について

【関係課担当者会議】

子育て支援課・障害者支援課・健康増進課・指導課  
・支援ネットワーク作り

特別支援教育連絡会議

《保・幼・小・中・高・特別支援学校・放課後デイサービス事業所等の連携》

★特別支援教育コーディネーターの情報交換、情報共有

幼・保→小、小→中への引継ぎの仕方の検討等

★特別支援教育コーディネーター研修

個別の指導計画作成、具体的な支援の手立て、進路指導  
校内の支援体制、教育相談のあり方等

作業チーム

通常の学級在籍児童生徒の  
個別の指導計画様式作成

保・幼・小・中  
高校

特別支援学校

専門家チーム・巡回相談

- ・実態把握と評価、支援方法についての助言
- ・校内支援体制整備についての助言
- ・発達検査の実施と保護者への理解啓発に関する助言
- ・個別の指導計画の作成に関する助言

## 令和 5 年度特別支援体制推進事業の成果と課題について

## 1 特別支援連携協議会

## (1) 構成

区 分	所 属 ・ 職 名
学識経験者	淑徳大学教授
医療関係者	小児科医師
保健関係者	四街道市健康こども部健康増進課 課長
福祉関係者	四街道市福祉サービス部障害者支援課 課長
福祉関係者	四街道市健康こども部子育て支援課 課長
保育関係者	四街道市立中央保育所 所長
療育関係者	児童デイサービスくれよん 所長
教育関係者	くりやま幼稚園長
教育関係者	四街道市立みそら小学校長
教育関係者	千葉県立四街道特別支援学校長
教育関係者	千葉県立四街道高等学校長
労働関係者	ハローワーク千葉 統括職業指導官
関係機関担当者	いんば中核地域生活支援センター「すけっと」 所長
関係機関担当者	千葉県教育庁北総教育事務所指導室 主席指導主事
市民	Aーの会 代表
市民	クレパスの会 代表
教育委員会関係者	四街道市教育委員会指導課 課長
事務局	四街道市教育委員会指導課 指導主事
事務局	四街道市教育委員会指導課 指導主事

## (2) 会議内容

## ①第1回

- ア 日 時 令和5年7月11日(火) 14:00~16:00
- イ 場 所 四街道市役所第二庁舎第2会議室
- ウ 内 容 ○各関係機関・団体等における現状と課題について  
○四街道市の特別支援教育の現状と今年度の取組について  
○その他

## ②第2回

- ア 日 時 令和6年2月27日(火) 14:00~16:00
- イ 内 容 ○特別支援体制推進事業の成果と課題について  
○来年度に向けて 等

## (3) 成果と課題

## ①成果

- ・平成19年から年2回連携協議会を行い、本市の特別支援体制等について意見交換を行っている。教育、保健、福祉、労働の各関係機関や保護者の代表がそれぞれの立場から、子どもたちへの支援の在り方、各関係機関との連携の在り方等について話し合うことができた。



## ②課題

- ・一人一人の子どもにあった進路を見つけていくことができるよう、それぞれの機関で何ができるかを情報共有し、よりよい支援につなげていきたい。特に、未就学児童のスムーズな就学の在り方について、さらに体制を整える必要がある。

## 2 特別支援教育連絡会議

特別支援連携協議会の作業部会として、平成18年度より特別支援教育連絡会議を組織している。

第1回は、教育委員会から今年度の四街道市の特別支援教育及びそれに係る取組等の説明を行った。また、関係各課、特別支援学校、いんば中核地域生活支援センター「すけっと」等の紹介を行い、グループに分かれて、情報交換を行った。第2回は、南部総合福祉センターで令和5年度を取組や児童生徒の就学の流れについて説明を行った。また、障害者高等技術専門校（愛称：ちばテク障害者校）の方を講師に、障害者高等技術専門校の学校説明や就職までに身につけたい力について講話をしていただいた。情報交換では、グループに分かれ「保護者との連携」について様々な立場から話をしたり聞いたりできるよう設定した。

- (1) 目的
  - ・四街道市内の特別支援教育に関するネットワークを作る。
  - ・特別支援教育に関する研修を深め、特別支援教育コーディネーターのスキルアップをめざす。
- (2) 参加者 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター、通級指導教室担当者、近隣特別支援学校の特別支援教育コーディネーター、市内保育所（園）・幼稚園職員、市内高等学校担当者、市役所関係課（健康増進課、子育て支援課、障害者支援課）担当者、児童デイサービスくれよん担当者、放課後等デイサービス職員、下志津病院臨床心理士
- (3) 内容
  - グループ別情報交換
  - 特別支援教育に関する研修
  - 情報交換、特別支援学校の紹介、市福祉サービス等の紹介
- (4) その他 教職員のニーズに合ったものになるよう、アンケートによる会議内容の検討を行った。
- (5) 会議内容について

### ①第1回

- ア 日時 令和5年8月2日（水）14：00～16：00
- イ 場所 四街道市立旭中学校
- ウ 参加者 55名
- エ 内容
  - ・「令和5年度 特別支援教育体制推進事業について」
  - ・「関係各課、特別支援学校、いんば中核地域生活支援センターの紹介」
  - ・情報交換

## ②第2回

ア 日 時	令和6年1月17日(水) 14:00~16:00
イ 場 所	南部総合福祉センター
ウ 参加者	48名
エ 内 容	・「令和5年度の取組について」 ・「児童生徒の就学の流れについて(就学支援シート・サポートシート)」 ・「障害者高等技術専門校(愛称:ちばテク障害者校)について」 ・情報交換会

### (6) 成果と課題

#### ①成果

- ・特別支援教育コーディネーター同士が、特別支援教育の支援体制について情報交換を行ったり、特別支援学校からの助言等、校外からの支援を積極的に取り入れるようになってきたりと連携を図ることができた。
- ・保育所(園)・幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校、デイサービス、関係各課の支援ネットワーク作りをすすめることができた。
- ・それぞれの立場から特別支援教育、スムーズな就学について、情報交換することができ、参加者のアンケートからも有意義な時間であったとの回答が多かった。

#### ②課題

- ・個別の教育支援計画や「にじいろサポート」の活用の仕方、周知の仕方について、今後、実践的な研修が必要である。
- ・各学校の中心となって活動できるよう、特別支援教育コーディネーターとしてのスキルアップを一層図るための研修を企画していきたい。
- ・各学校において、特別支援学校と連携してその専門性を伝えてもらう機会が少なかった。特別支援学校から学ぶ機会を増やしていく。

### 3 関係課特別支援担当者会議

#### (1) 会議内容について

ア 日 時	令和5年6月12日(月) 14:00~15:00
イ 場 所	四街道市保健センター2階
ウ 参加者	健康増進課、子育て支援課、障害者支援課、指導課
エ 内 容	○医療的ケア児への対応について ○にじいろサポートの活用促進 ○情報交換

#### (2) 成果と課題

##### ①成果

- ・それぞれの課で把握している就学前児童について、その都度、情報共有し、保護者から相談が入り次第、当課につなげていただくことでスムーズな就学相談ができた。

## ②課題

- ・市全体を通じて、保護者の意向に寄り添いながらも児童の状況に合った就学ができるよう、さらに体制を整えていく必要がある。
- ・就学相談説明会について、関係各課で周知方法を工夫し、早い段階から就学相談につなげていくようにする。
- ・各課における「にじいろサポート」活用の具体的な取組をさらに明確にしていくために、療育手帳再交付等の際にも活用状況の確認が必要である。

## 4 専門家チームの活動

### (1) 構成

区分	所属・職名
関係機関担当者	千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事
学識経験者	放送大学 教授
学校関係者	千葉県立四街道特別支援学校 特別支援教育コーディネーター
学校関係者	千葉県立千葉盲学校 特別支援教育コーディネーター
学校関係者	四街道市四街道中学校 特別支援教育コーディネーター
教育委員会関係者	四街道市巡回相談員
療育関係者学校関係者	児童デイサービスくれよん 児童発達管理責任者

### (2) 活動内容

#### ①専門家チーム会議

##### ○第1回

- 日時 令和5年5月24日(水) 15:00～16:30  
 場所 四街道市役所第二庁舎第2会議室  
 内容 ○四街道市の現状について  
 ○特別支援体制について  
 ○令和5年度の活動について

##### ○第2回

- 日時 令和6年2月20日(火) 15:00～16:30  
 場所 四街道市役所第二庁舎第2会議室  
 内容 ○令和5年度特別支援体制推進事業の成果と課題について  
 ○青い麦の子振興ふれあい運動会について  
 ○令和6年度の取組について

## ②巡回相談

○専門家チーム委員であるため、四街道市巡回相談員が諸検査を行い、市内児童生徒及び保護者、教職員へ児童生徒の実態に応じた支援方法等を助言した。

### (3) 成果と課題

#### ①成果

・特別支援教育連絡会議作業チームによる通常の学級児童生徒用個別の指導計画の様式を作成に際し、適切な助言を行った。

#### ②課題

・市巡回相談員による相談のケースが多くなっている。今後、ケースの内容によって、巡回相談員以外の専門家チーム委員による相談や相談機関を上手に選択できるよう工夫していく。  
・専門家チーム委員が、学校訪問により、対応が難しい子どもたちへ指導・助言を行うことができるよう、事務局でコーディネートしていきたい。

## 5 発達相談

平成20年11月より、指導課で四街道市巡回相談員による発達相談を実施している。

### (1) 巡回相談、来所相談による発達相談 (令和6年1月31日現在)

①相談の件数 44件

②対象 市内小学校に在籍している児童生徒及びその保護者  
市内の小中学校に勤務している教職員  
市内在住で令和6年度に就学予定の幼児及びその保護者

#### ③相談内容

○諸検査の実施 44件 (WISC-IV 43件、田中ビネー1件)

○授業参観 0件

○面談(検査報告を除く) 0件

○児童生徒等に係る相談件数 児童生徒14校41件、就学前児3件  
(中学校3校5件、小学校11校36件)

### (3) 成果と課題

#### ①成果

・市内小中学校では巡回相談による指導助言をいかした支援に努めている。  
市巡回相談員の果たす役割は大きい。  
・発達検査の依頼が多く、結果を受けて参考にすることにより、支援が充実してきた。

#### ②課題

・発達検査の依頼は年々増加しており、週1回の市巡回相談員では対応が難しくなっている。  
・今後、医療と関わることが予想されるケースが多くあるため、保護者の理解を得て医療につなげることの重要性を研修内容に入れる等、学校が必要に応じて医療へと

つなげられるようにしていくことが必要である。

- ・発達検査に至るまでのプロセスについて、各学校でも校内でよく検討してもらう必要がある。

## 6 教職員等の研修（市主催研修）

### （1）一般教職員の研修

令和5年8月24日（木）14：00～16：30 南部総合福祉センター

テーマ 「通常の学級における特別支援教育の推進について」

講師 植草学園短期大学 特別教授 佐藤 慎二 先生

参加者 62名

対象 市内小中学校通常の学級教職員 特別支援学校教職員  
市内幼稚園・保育所（園）教職員  
県立特別支援学校教職員 市内高等学校教職員

### （2）特別支援学級担任・特別支援教育コーディネーターの研修

令和5年4月21日（金）15：00～16：30 四街道市役所第二庁舎

テーマ 「特別支援学級の運営と教育課程の編成」

「特別支援教育コーディネーターの役割」

講師 四街道市教育委員会指導主事

対象 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター

参加者 17名

### （3）特別支援教育支援員の研修

①令和5年4月7日（金） 15：00～16：00

四街道市青少年育成センター 2階

テーマ ・特別支援教育支援員としての心構え  
・サービスに関する事務処理について

対象 市内各小中学校に配置される特別支援教育支援員

②令和5年7月20日（木）14：30～16：00

四街道市青少年育成センター 2階

テーマ ・「特別支援教育支援員の役割と学級担任との連携について」  
・グループ討議

講師 千葉県立印旛特別支援学校

特別支援教育コーディネーター 長柄 暁子 先生

対象 市内各小中学校に配置される特別支援教育支援員

参加者 36名

#### (4) 成果と課題

##### ①成果

- ・通常の学級担任を対象とした研修では、通常の学級における支援を必要とする児童生徒への対応について、講話をいただき、適切な支援について考えることができた。
- ・校内支援体制を整えていく上で、重要な役割を担う特別支援教育コーディネーターが参加する研修会を実施することができた。年度始めに研修会を実施することで、四街道市の特別支援教育の相談支援体制等について理解を深めることができた。
- ・特別支援教育支援員の研修会では、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の方法と職員との連携についての講話及び情報交換を行った。講話の中では、映像を見ながら子どもへの支援の仕方を解説していただき、受講者からとても分かりやすかったという声があった。また、情報交換では、各学校の支援の状況や支援員の悩み等を把握することができた。

##### ②課題

- ・特別支援学級の増加により、経験の少ない担任が増えている。実践的な研修を実施したい。
- ・通常の学級担任の研修の参加について今後もさらに呼び掛け、それぞれの子どもたちにあった支援ができる教職員を育てていく必要がある。
- ・よりよい研修会の実施を維持していくため、課題に応じた講師を探し、確保していく必要がある。
- ・校内支援体制の構築、保護者との連携のあり方についてさらに研修を深めていきたい。

#### 7 医療的ケア児への支援

令和4年度より看護師を配置している。

令和4年度は市の会計年度任用職員の看護師であったが、令和5年度より、訪問看護ステーションへ委託し、小学校1校へ看護師の派遣を行っている。

##### ①成果

- ・今年度より訪問看護ステーションへの委託での派遣になり、児童が安心して学校生活を送ることができた。
- ・看護師から保護者や教職員への説明も適切に行われ、保護者、教職員が児童への支援方法を共通理解し、支援にあたることができた。
- ・児童に係る保護者の付き添いを減らすことができた。

##### ②課題

- ・今後、医療的ケアの対象児童の入学が増えることが予想されるため、関係各課、訪問看護ステーションとの連携がさらに必要である。
- ・四街道市の医療的ケアのガイドライン、申請の方法を整備していく必要がある。

記入例をもとに、保護者の方に記入していただきます。  
年度初めには、赤字で加除訂正をしていただき、引き継いでいきます。

氏名	〇〇 〇〇	生年月日	H〇〇〇年〇〇月〇〇日
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市 〇〇〇 〇番地〇〇 TEL 〇43-〇〇〇-〇〇〇〇	家族状況	・家族構成(〇人家族) 〇〇・〇〇・〇〇
緊急連絡先	①名前〇〇 〇〇 (結構 母) Tel 090-〇〇〇-〇〇〇 ②名前〇〇 〇〇 (結構 父) Tel 090-〇〇〇-〇〇〇		
診断名(複数可)	医療機関名	諸検査・服薬・アレルギーなど	
〇〇〇	・〇〇病院精神科 〇〇医師 ※一時中止(HO年5月) 月1回定例通院中	〇〇錠 ΔΔg 服薬中。  ・WISCIV HO.〇〇実施 全検査(FSIQ) 〇〇 言語理解指標(VCI) 〇〇 知覚推理指標(PRI) 〇〇 ワーキングメモリ指標(WMI) 〇〇 処理速度指標(PSI) 〇〇 ◎視覚優位なので、絵や図を使って説明した方がよい。	
特に関心していること(学年等)		現在までの治療・相談歴	
・集中を持続することができない。 ・言葉での指示が伝わりにくい。(入学時) ・45分間着席をしない(2年生)		・ΔΔ病院精神科 担当 〇〇 〇〇先生 連絡先 〇〇〇-〇〇〇〇 ・特別支援学校教育相談担当 〇〇〇 〇〇 連絡先 〇〇〇-〇〇〇〇 ・ひだまり 〇〇について、継続相談中である。SST指導。 ※心理療法に変更(HO年〇月)心理的安定を目指す。	
検査結果から、支援に役立ち、 そうなポイントを記入しておく。		子どもが特に困っている事について、 ご記入ください。( )内に、 そのときの学年を書いておく。	
療育手帳	有・無 等級 〇〇	手帳番号	ΔΔΔΔ R〇〇 年〇 月 〇日交付
身体障害者手帳	有・無 等級	手帳番号	年 月 日交付
精神障害者保健福祉手帳	有・無 等級	手帳番号	年 月 日交付
受給者証	有・無	番号	番号

通 知 用 の り し き

関心・意向	<本人> 電車が好き。	<保護者> 興味のあることには集中して取り組むことができる。母が病氣だと心配してくれるなど、優しいところがある。
ニーズ願い	<本人> (現在) みんなと仲良く遊びたい。 (将来) 勉強ができるようになりたい。 電車の運転手になりたい。	<保護者> (現在) 落ち着いて学校生活を送ってほしい。 (将来) みんなと一緒に進学してほしい。 仕事に就いて自立した生活を送ってほしい。

**校外の機関と連携した支援**

①教育関係機関	②医療関係機関
・〇〇小こどもルーム(学童) ・スクールカウンセラーΔΔ先生に相談中。	ΔΔ病院 TEL043-〇〇〇-〇〇〇 〇〇先生
③保健・福祉関係機関	④家庭・地域生活
・健康増進課 親子カウンセリングを受けた。 ・ひだまり 担当〇〇さん ~について相談中。	〇〇水泳クラブに通っている。(月・木) 〇〇教室に通っている。(金) 放課後デイサービス〇〇〇に通っている。(火)
⑤特別支援学校	⑥その他( )
〇〇特別支援学校 週1回自立活動に通っている	

氏名 〇〇 〇〇〇

このシートの情報を支援関係者と共有することに同意します。  
令和〇〇年 〇月 〇日 保護者氏名 〇〇〇〇 印

合理的配慮に向けた合意形成の過程 ( 氏名 )

年月日(学年)	配慮が必要な状況・実態	配慮事項 (3観点11項目を抄写)	記録(経過)
HO 〇/〇 (1年)	文字を書くことに抵抗があり、学習への取組が消極的になっている。 漢字の50問テストで2問の正答である。	書く量の調整を図り、漢字パズルやカードを使って漢字の習得を促す。 (1-2-1)	漢字パズルを家庭学習でも取り組んでもらうことになった。  面談者氏名(自署) 保護者氏名(自署) 印
〇/〇	疾患により、階段の昇降や歩行が困難である。	エレベーターの設置や昇降機の購入はできないか。 (3-1)	校内支援委員会で検討し、教育委員会に保護者の要望として伝えることになった。  面談者氏名(自署) 保護者氏名(自署) 印

面談等で使う。担任が記入する。  
「ご要望ありますか?」の問いに、保護者から申し出があった場合、その内容について記録する。  
(実施できる・できないに関わらず)  
合意形成のもと、行っていく配慮については、個別の指導計画に「合理的配慮」として記入する。

メモ欄 (様式にない項目やその他の重要事項を記入し、必要に応じて個別の指導計画を貼ったりして活用する。)

前期 あゆみ (個別の指導計画)

氏名			
長期重点目標 (年)			
教科領域	短期目標	指導方法・手立て (合理的配慮)	学習の記録・評価
国語			
社会			
算数			
理科			
生活科			
音楽			
家庭科			
図画工作			
体育			

外国語			
自立活動			
生涯学習			
日常生活の指導			

特別の教科	道徳
特別活動	記録 係 委員会 クラブ

総合的な学習の時間
総合所見

出欠の記録	
授業日数	日
出席停止・遅引き等の日数	日
出席しなければならぬ日数	日
欠席日数	日
出席日数	日

校長	
担任	
保護者氏名	印



特別支援学級 通知表 (前期)

氏名	指定期間：令和 年 月 日～令和 年 月 日
学年・組	交流学級 年 組 番
長期重点目標 (年)	

教科・領域	短期目標	指導方法・手立て	評価
国語			
社会			
数学			
理科			
音楽			
美術			
保健体育			
技術・家庭 (技術)			

技術・家庭 (技術)			
英語			
生活単元			
作業学習			

総合的な学習の時間の記録	
活動	
観点	
評価	

総合所見	

特別活動の記録	
生徒会	
学級	
行事等	
部活動	
賞	

校長		
担任		
保護者氏名	_____ 印	

出欠の記録		備考	
授業日数	日	0	日
引き等の日数	日		日
出席しなければならぬ日数	日		日
欠席日数	日	0	日
出席日数	日		日
遅刻	日	0	日
早退	日	0	日

個別の指導計画(通常の学級在籍者用)

年度

(ふりがな) 児童生徒氏名	○○ ○○ ○○○ ○○○	担任氏名 ○○○ ○○○	
生年月日 学年・組	平成 年 月 日生 才	年 組	
諸検査等	WISC-IV (R5. ○. ○)	全検査IQ ○○ 言語理解指標 ○○ 知覚推理指標 ○○ ワーキングメモリー指標 ○○ 処理速度指標 ○○	
児童の様子	学習面 (国・算中心に)	国語…文章を書くのをあまり好まない。音読がスムーズにできない。 算数…計算をするのは早い、正確でないことがある。	
	健康面	卵アレルギー アナフィラキシーショックを起こしたことがある。	
	身体の動き	走ったりボールをなげたりすることが得意。	
	コミュニケーション	男女ともに話をしたり、遊んだりしているが、トラブルになることも多い。	
	情緒面	落ち着いて学習できるようになってきたが、日によっていらいらしたり、乱暴な言動をしたりする。	
	児童が好きなこと・得意なこと	体育、理科、車、ドッチボール、紙飛行機	
保護者・本人の願い (※合意形成された合理的配慮)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて学校生活を送ってほしい。</li> <li>・忘れ物や落とし物が減ってほしい。</li> </ul>		
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の主張ばかりを通さず、我慢することも覚える。</li> <li>・落ち着いた態度で学習に取り組む。</li> </ul>		
手立てと評価	※どのような手立てをしてきたか具体的に箇条書きにする。 (苦手な活動のときにはできるだけ事前に内容を予告する。板書の一部をコピーしたものをノートに貼る 等) ※評価は、効果的だったものに○を、そうでないものに△を記入。		
	〈課題克服のための手立て〉	〈評価〉	
	①トラブルが起きたときは、まず落ち着かせてから本人の主張をよく聞く。	○	①友達とのトラブルが前期よりは後期のほうが少なくなった。手を出すことはほとんど無くなったが、感情が高ぶると抑えられないところが見受けられるので、落ち着かない日は注意をして様子を見ておく必要がある
	②物をしまう場所(ロッカー・引き出し)のきれいな状態の写真を撮り、掲示する。	○	②授業中は机の上に置く物を指示して、使う物以外は出さないようにした。(正しく置いてある写真の掲示物を活用した)
	③提出物などは確実に提出させ、さぼったり、手を抜いたりしないように指導する。	△	③宿題を忘れた時は、必ず休み時間のうちに終わらせることができた。
④手伝いをたくさんお願いし、できるようになったことはたくさん褒め、本人の自信をつけさせる。(スタンプ・シールなど)	○	④教材を運んだり、プリントを配ったり手伝いを進んでやってくれた。大いに褒め、全体へも本人の良いところをたくさん伝えるようにした。	

この記入事項を、お子様のよりよい学校生活のために関係者に情報提供することに同意します。

保護者名

印

# にじいろサポートの使い方

## ～一人一人が輝くために～

四街道市では、一人一人のニーズに合った支援を行うために、「にじいろサポート」を作成しました。

お子様が、充実した生活を送るためには、医療・保健・福祉・教育・就労などの機関が、切れ目のない支援を行うことが大切です。この「にじいろサポート」は、お子様に関する情報を各関係機関が共有し、連携して支援を行うための大事なツールとなります。

保護者・支援関係者がお子様に関する資料を綴じ込んだり、書き込んだりすることで、お子様だけのオリジナルの「にじいろサポート」になります。

子どもたち一人一人が、その子らしく個性豊かに輝くために、ぜひご利用ください。

### ★にじいろサポートを利用すると、こんなメリットがあります★

- ◎いろいろな機関に相談をするときに、お子様の状況を説明しやすくなります。
- ◎記録を整理しながら綴じこんでいくことで、お子様の成長の過程がよく分かります。
- ◎保護者と支援関係者で、お子様に関する情報を共有することで、一貫した継続的な支援を受けやすくなります。

保護者の方が保管します。

必要に応じて、関係機関に提示します。

### ★こんな利用の方法があります★

#### 幼稚園・保育所(園)・学校で

- ・入園、入学、進級時に、「にじいろサポート」を提示しながら、お子様の状況やこれまで受けてきた支援について担任の先生に伝える。
- ・学校が作成した「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を「にじいろサポート」に綴じこんでおく。

#### 医療機関で

- ・初めて受診する病院で、お子様の状況や服薬している薬、病院での検査結果などについて、「にじいろサポート」を提示しながら、お医者さんに伝える。

#### 市役所で

- ・手帳の申請や福祉サービスを受けるための相談をするとき、窓口で「にじいろサポート」を提示する。

#### 相談支援事業所、福祉サービス事業所で

- ・児童デイサービスや福祉サービスを利用するとき、「にじいろサポート」を提示しながら、お子様の状況や学校での支援の状況について担当者に伝える。

【ご注意】 「にじいろサポート」を持つことは、身体障害者手帳や療育手帳を取得したときのような税額の減免やサービスの提供を受けることとは、直接関係がありません。

お問い合わせ	指導課 (☎043 - 424 - 8925)	健康増進課 (☎043 - 421-6100)
	障害者支援課 (☎043 - 421-6122)	子育て支援課 (☎043 - 388-8100)

### にじいろサポート 活用リスト

にじいろサポートは、お子様のニーズに応じた資料を綴じ込み、活用するものです。  
資料を綴じこんだら、年度を記入しておきましょう。

No	綴じこんだもの	綴じた年度	No	綴じこんだもの	綴じた年度
1	関係機関と連携した支援		16	中学校2年生の記録	
2	乳幼児期の記録		17	中学校3年生の記録	
3	療育機関の記録(幼児期)		18	中学校卒業後の記録	
4	幼稚園・保育園(所)の記録		19	就労の記録	
5	就学支援シートの写し		20	医療の記録・資料	
6	個別の教育支援計画(小学校)		21	受診サポートシート	
7	小学校1年生の記録		22	申請などの記録・資料	
8	小学校2年生の記録		23	各課の支援計画	
9	小学校3年生の記録		24	コピー記録表	
10	小学校4年生の記録		25		
11	小学校5年生の記録		26		
12	小学校6年生の記録		27		
13	サポートシートの写し		28		
14	個別の教育支援計画(中学校)		29		
15	中学校1年生の記録		30		

### 医療の記録・資料

医療機関受診や服薬の状況を記入してください。

また、その際にもらった記録や資料があれば、このシートの後ろに綴じておく便利です。

年月日	医療機関名・主治医名	概要(診断名等)
例 HO, O, O	例 〇〇クリニック・〇〇先生	例 ADHDの診断 コンサータの服用を開始する。

### 申請などの記録・資料

手帳の申請や福祉サービス等の申請をしたときに記入します。  
このシートの後ろに、手帳のコピーを綴じておく便利です。

年月日	相談機関名	担当者名	申請した項目
例 HO, O, O	例 障害者支援課	例 〇〇さん	例 福祉サービスの申請

### コピー記録表

学校や関係機関が、「にじいろサポート」のコピーをとって持つ際に記入してください。

年月日	コピーを渡した人	目的	該当資料
例 RO, O, O	例 〇〇小学校・〇〇先生	例 支援内容を検討するため	例 療育機関の記録

## 令和5年度 就学相談説明会 報告

- 1 日 時 令和5年5月16日(火)  
1回目 10:30～11:15  
2回目 13:30～14:15
- 2 会 場 四街道市役所第二庁舎 第2会議室
- 3 内 容 (1) 小中学校における特別支援教育  
(2) 特別支援学校における特別支援教育  
(3) 就学相談について  
(4) 就学时健康診断について  
(5) 「にじいろサポート」について  
(6) 就学支援シートについて
- 4 参加者 37名

### ※令和6年度予定

- 日 時 令和6年5月14日(火)  
会 場 南部総合福祉センター わろうべの里

## 令和5年度 第49回青い麦の子振興ふれあい運動会について

標記運動会について、下記のとおり実施した。

## 1 概要

主催 印旛特別支援教育研究連盟

印旛地区特別支援学級設置校校長会

四街道市教育委員会

四街道市教育研究会特別支援教育研究部

日時 令和5年10月18日（水） 9：00～14：00

会場 四街道総合公園体育館（メインアリーナ・サブアリーナ）

内容 （1）市内小中学校特別支援学級在籍児童生徒の交流

・＜午前＞ふれあい運動会   ＜午後＞頒布会

（2）特別支援教育についての理解・啓発の促進

・各学校特別支援学級紹介記事の市ホームページへの掲載

公開期間 令和5年10月18日（水）～10月29日（日）

## 2 行事を終えて

## 成果

- ・久しぶりの開催であり不安も大きかったが、実際に行ってみて、やはり子どもたちにとってプラスになると再確認した。
- ・頒布会で児童生徒が生き生きと活動していた。こういった機会は大事だと思う。
- ・市HPに公開された学校紹介については各学校工夫されているもので良いと感じた。

## 課題

- ・今年はR5年に入ってから決定することが多かったため、スタートが遅くなってしまった。総会で確認等ができるよう前年度に方向性を決める必要があった。
- ・振興大会と大きな行事で、時間と手間を要する。今回の子どもたちの様子を見ると、持続可能な内容で続けていけるとよい。
- ・開催時期・開催方法について検討する必要がある。
- ・学校紹介については閲覧する際に学校紹介のページにたどり着くまでに手間がかかった。わかりやすいところにリンクがあるとよい。
- ・今後、市民の方にも参観してもらえるとよいが、保護者向け文書にその旨を記載する必要がある。

## 協議 令和6年度の取組について

1 特別支援教育連絡会議について

2 専門家チームの活動について

3 市主催研修について

4 就学相談について

5 その他